

# **G**OVERNOR'S **MONTHLY LETTER**

# 1

2010-2011  
ガバナー月信



**国際ロータリー第2510地区**

2010-2011年度ガバナー

**佐々木 正丞** MASATSUGU SASAKI

〒060-0042

札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F

TEL (011)207-2510 FAX (011)207-2512

E-mail : rid2510@nifty.com

<http://www.ri2510.gr.jp>

2010-2011年度  
国際ロータリーテーマ

「地域を育み、大陸をつなぐ」  
Building Communities Bridging Continents



## 国際ロータリー第2510地区 2010-2011年度



- I クラブの活性化、会員増強に向けて、CLPの導入検討をしよう
- II 地域ニーズを踏まえて、地域密着の奉仕活動を実践しよう
- III ロータリー財団の理解を深めて協力支援をしよう  
「毎年一人100ドル」を協力しよう



ガバナーメッセージ「新たなる決意」	1
ロータリー研究会参加報告	2
ロータリー財団地域セミナーに学んで	4
地区ガバナー補佐会議	5
公式訪問報告	6
2012-13年度 国際親善奨学生の募集・推薦について／地区組織図の変更について	11
新入会員のご紹介／訃報／文庫通信	12
ロータリー財団寄付、米山寄付／地区カレンダー（下半期）	13
出席率・会員数	14



## 新たな決意

国際ロータリー第2510地区

2010-2011年度 ガバナー **佐々木 正丞**

(札幌RC)

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様にはご家族の皆様と共に清々しい新年をお迎えになられたことと存じます。早いもので今年度のロータリー年度は既に半分終わりました。紙面をお借りして2510地区のロータリーの皆様に一言ご挨拶を申し上げます。

顧みますとこの半年、いや実質的には1年以上になりますが、物事は大過なく順調に進んでいるように思えるかもしれませんが、私の心の中は決して波静かであったとは言えません。常に「これで良いのか」という焦慮に何度もおそわれた。

国内GETSに始まって、サンディエゴでの国際協議会、地区内の研修会、PETS、地区協議会と立て続けのスケジュールを何とかこなして参りました。エレクト時代は、まだ「エレクトだから」という言い訳が心の逃げ道になっていました。しかしながらGETSで国際ロータリーが進めようとしている方向や施策を教わるにつけ、当地区とのギャップを思い知らされ、心の中での葛藤が渦巻いてきたことであります。

まずは会員の減少であり、高齢化問題があります。それは予算の減少と共に志気の低下となって現れてきております。それにも増して心を痛めたのは、ロータリーが100年を迎えるにあたって新たに大きく変化しようとしている3つの目標、それは一にポリオ撲滅運動であり、二に長期ビジョンを持ったクラブリーダーシッププランの推進であり、三に2013年に本格実施される現在テスト中の財団の未来の夢計画であります。ポリオはあと1インチのところまで来ていると言われております。残りの二つ以外の事項についてもニュージェネレーションの問題、今まで陰徳としていたロータリーの広報活動問題についても、早急に対処していかねばならないテーマであります。これらが世界的な大きな動向であります。この大きなうねりに比べて当地区は、これら全ての問題について充分に対処しているとは言い難いのであります。部分的に進んでいるクラブがあり、RI会長賞を何食わぬ顔で2、3回獲得しているクラブもあります。しかし、いろいろな面で当地区は、全国に後塵を拝しているのも事実であります。例えば、会員の減少率であり、ポリオの献金額であります。特に遅れているのが、クラブリーダーシッププランの進捗率であります。

私はこれらの心配ごとを胸に抱えながら7月から73クラブの公式訪問に入りました。私は過度に形式にこだわらないようにして、まずは皆さんの真意を聞こうと努め、RIの、そして当地区の目指す事柄、その狙いとする真意を中心にお話ししました。私はクラブ訪問を重ねる毎に日に日に元気になりました。皆さんのCLPなどに対する誤解は日に日に解けていきましたし、私の方でも「これは」とうならされるようなことも多々ありました。その一つだけをご紹介します。「何もない春です」と謡われたえりもの植林活動の素晴らしさに対して私は「これは以前映画『釣りバカ日誌』でやっていたね」とうっかり口をすべらせましたら「何を言うか、こちらの業績を映画の方が真似したのだ」— 私は平謝りに謝りました。

私はこれらの各クラブの社会奉仕活動の実施事例をマンガチックな本にしようと思っています。阪崎地区社会奉仕委員長さんの下で編集されつつあるので、もうじきお目にとまると思います。

来るべき2013年の未来の夢計画の時は、この本をもって財団と対峙したいと思っております。

## 第39回 ロータリー研究会

地区研修リーダー **塚原 房樹**  
(札幌東RC・PG)



11月26～27日の両日大阪で、第39回ロータリー研究会が開催されました。ロータリー研究会は毎年11月に開催され、その目的はRIと財団のプログラムに関する正確な情報の把握と、これらに対する改善点の提案が主なものです。さらに参加者全員の間に親睦とチーム精神を培うため、学び、討論し、意欲を高める場でもあります。

近藤雅臣RI理事の召集でクリンギンスミスRI会長、ステンハマー財団管理委員長他、多数のシニアリーダーが参加されました。また国内34地区より400名を越すRIの元、現役員が出席しました。

冒頭の基調講演でクリンギンスミスRI会長は、『私はロータリーを現在の社会変化に対応する組織にすべく、winds of change「変化の風」という言葉を掲げました。そして新長期計画を採択し、2010～13年度の優先項目として、クラブが/bigger/better/bolder「より大きく、豊かで、大胆に」なることを提唱しました。これを実行するにあたり、今年度、ガバナーを支援する国際ロータリーの各プログラムやクラブ運営の効果的な事例などの情報を提供する「ロータリー・コーディネータープログラム」を創設しました』と述べられました。続いてRI理事会報告、財団近況報告、田中作次RI会長ノミニーの挨拶、米山奨学会報告があり、午後からは金美齡氏の「新世代を育てる」という歯切れのよい講演がありました。その後2日間にわたり以下、6つのPlenary Session「本会議」が行われました。

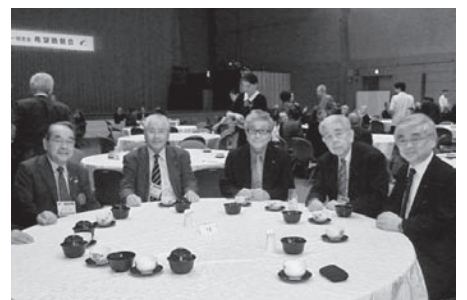
- ①「戦略計画ークラブ活性化とロータリー・コーディネーターの役割」 ②「職業奉仕と高潔性」  
③「会員増強」 ④「新世代奉仕」 ⑤「ポリオプラス」 ⑥「綱領の和訳」、の6セッションでした。

①の戦略計画はStrategic Planの訳語で「長期計画」を意味します。クラブサポートのためにロータリーコーディネーターの活用、多様性、CLP、公共イメージの向上などが挙げられました。②の職業奉仕と高潔性については、日本のロータリアンにとっては既知の事柄ばかりでした。高潔性についての質問があり、イタリアの理事が答えましたが、我々の職業奉仕の倫理観と見解の相違があるようです。③の会員増強は女性会員の増強、財団学友クラブの紹介などで特に目新しい話題はありませんでした。

④の新世代奉仕は、未来のロータリーの生命線と認識されました。従来ガバナー会が行ってきた青少年交換の危機管理をRIJYEC（国際ロータリー日本青少年交換委員会）に移管しました。この法人は、世界中の人々に対して、留学に関する問題点の把握、原因の究明、解決策の検討事業を行い、留学しやすい環境を整備し、国際交流の向上と平和に貢献することを目的とします。

⑤のポリオプラスでは過去の経緯と今後の見通し、さらなる募金要請がありました。⑥の綱領の和訳は堅すぎる。ロータリーをもっと解りやすい日常語に翻訳しようという提案を受けて議論がなされました。

連日、早朝より夕刻まで密度の濃い、ハードなスケジュールでしたが、最新のRI情報に触れられる得難い機会でした。なお当地区からは佐々木ガバナーを始め14名の方が出席されました。



## 第39回 ロータリー研究会参加記

地区研修委員 **丸山 淳士**  
(札幌真駒内RC・PG)

今年のロータリー研究会は大阪において行われました。レイ・クリングスミスRI会長による基調講演から2日間にわたる研究会が開始されました。ロータリーの長期計画についての話から始まり、クラブのサポートと強化を重点に、アメリカでは新世代クラブを結成し若者を引きつける工夫をしている。食事を抜き、食後の例会をしているというところも現れている。次いで、認知度の高揚は日本でも大切であり、どのように他から見られているかを考える必要がある。特に若者から好まれていない団体になっていないかを考える必要がある。地区が協力しながらキャンペーンを行っていき支援をしたい、そして人道的プログラムを推進し、長期計画はロータリーをいかに改善していくかという計画である。一般大衆には、社会的に良いことを献身的に国際的にやっている団体というイメージを知らせていかなければならない、という内容でした。

エドウィンH.フタRI事務総長は挨拶の中で、会員の減少と高齢化はほとんどの国々のロータリークラブが持っている悩みであり、嘗ての日本の3人のスーパーヒーローを思い出してほしい、この3人の中に会員増強の鍵がある。一人は豊臣秀吉で、農民として生まれたにもかかわらず、すばらしい統治者となった。目的を明確に定め向かっていった。次いで徳川家康で、60歳の時に勝利の理論を考えた。年齢にとらわれずに常に前進的考えを持っていて72歳の時に全国の統治者として名をあげた。3人目は伊達正宗で、14歳で父から小さな藩を貰った。徳川家康と協力して24歳の時に日本に貢献した。70歳と24歳の人間が協力し合って歴史を作り出した。これら3人のスーパーヒーローに学んで身分年齢にかかわらずに参加を勧める考えを持たなければならないと会員増強の広い考え方を示してくれた。

黒田RI理事からは今後、RIは財団と協力し他の協力団体との可能性も探る。そして、変化の風=Bigger, Better, Bolderをめざし改革の前進を図るという話がありました。

ロータリー財団近況報告では小沢一彦TRF管理委員から2009-10年度は経済的不安定な時期なのにもかかわらず実り多くなっており、ポリオプラスについては最優先プログラムであり、2億ドルチャレンジは1億5千100万ドルが現在までに集まっている。日本は世界2位。未来の夢計画=新しい補助金制度を試験的に施行している。結果報告を待つて実行に移す計画になっている。進捗に注目している。という話がありました。

RI会長ノミニー指名委員会報告では、指名委員の小沢一彦氏より、2010年8月9日、2012-13年度RI会長推薦委員会が開催され、17ゾーンから選出された17名の指名委員で8名の立候補者について、審議をした結果、満場一致で田中作次氏が選出され、議長が本人に受諾を確認したとの報告があった。RI会長ノミニーに決定した田中作次氏から、ロータリーのすばらしさを再確認しなければならない。地域の発展が世界の発展につながっていく。世界理解、親善、多様性を認めることがロータリーの本質である。ロータリーの価値を高めることを見直そうではありませんかという力強い挨拶があった。

金美齡氏の講演では「新世代を育てる」という演題で、まず亡き夫が米山奨学生であり、とても感謝している。ロータリーはメディアをもっと活用すべきである。杓子定規で自分で判断することができない、責任逃れの決め方が日本式決め方になっている。もっと自分の国に誇りを持つ教育が必要であり、陰徳を積むのは美徳ではないと思う。国民皆保険の日本は50年、台湾は15年になる。アメリカは今これをやろうとしている。台湾に関しては日本が残した業績に他ならない。今、若者にこそ現場に行かせる、世界を見せることが大切である。奉仕の精神とは国を守り平和を守るという意味をも含んでいる。

渡辺好政元RI理事はhigh ethical standardsとは?の中で、ロータリーバッジについて、「輝くロータリーの徽章」・・・田中作次氏の言葉だそうで、私たちのつけているバッジの意味は次の5つだという話がありました。

あなたは、私を信頼することができます。

私は、頼りになります。

私は、信用に値します。

私は、受けるよりも多くを与えます。

私は、いつでもお手伝いをします。

2日目は会員増強、新世代奉仕、ポリオプラス、綱領の和訳、オープンフォーラムがあり、誠に息つく暇もない充実した研究会でした。



## ロータリー財団地域セミナーに学んで

地区ロータリー財団委員会

委員長 **岩城 秀晴**

(札幌南RC・PG)

財団の地域セミナーに今年で4度目の参加となりました。このセミナーは研究会の前日に特別開催となっておりまして、伊藤義郎RI元理事、佐々木ガバナー、熊澤ガバナーエレクト、佐藤パストガバナー、鍋谷ガバナー補佐、久保田地区代表幹事と小生の7名の参加者となりました。

今年は特にロータリー財団の変化の大きい年でもあり、財団が提唱しております「未来の夢計画」がどのように変わっていくかが興味のある事項であるかの探りの年でもありますので、参加者全員が熱心に傾聴したところでした。私は特に委員長の任期を延長しての重要な責務と受け留め、今後の2510地区での財団運営の進路を探るべく、傾聴した次第です。

簡単に財団の大綱を申し上げますと、財団も100年を迎えるに当って、プログラムの在り方を教育的プログラムから人道的プログラムに修正し、より地域に育った奉仕活動を行い、運営を簡素化、ロータリアンにとって関連性のある世界のニーズに取り組み、世界目標と地区レベル、クラブレベルで、財団の所有知識を高める。これらの事項が未来の夢計画の目的となったのです。同時に、地区の裁量権の拡大が図られております。

その1つの「プログラムの簡素化」とは重点分野を設定し、この分野に力点を置くことです。

- |                 |                |               |
|-----------------|----------------|---------------|
| 1. 平和の紛争予防／紛争解決 | 2. 疾病予防と治療     | 3. 水と衛生設備     |
| 4. 母子の健康        | 5. 基本的教育と識字率向上 | 6. 経済と地域社会の発展 |

資金的に見ても、DDFの50%超をこのプログラムに向けることができるのです。

その2として、「地区の裁量権の拡大」とは、従来はDDFの最大20%が地区の裁量権の範囲でしたが、今後は50%へと増大することになりました。その反面、地区資金管理の責任が増加しました。一方、新地区補助金プロジェクトを実施するに当って、「計画年度」と「事業年度」と2年がかりの事業になりました。単年度制に慣れているクラブや地区にとっては注意が必要となります。

そこで、未来の夢計画を当地区では具体的にはどうすれば良いのかの質問になろうと思いますが、当地区は2013-14年度からこの計画に移行することになります。この間に準備態勢を考えていくことが重要になってまいります。それで、従前にあったプログラムの国際親善奨学金は奨学金となり、GSEは職業研修チームに変わります。補助金は新地区補助金とグローバル補助金となります。これらのプログラムの詳細については、紙面の都合で今回は省略致しますが、後日別稿にて解説を致したいと存じます。

今後の対策としては、どう考えるのか。

ロータリー財団セミナーに参加して考えたことを述べますと、当2510地区は2013-14年度から実施することになりますが、その間にパイロット地区（例えば第2770地区）がテストを実施しておりますので、この地区の協力を受けながら実施に向けて行く考えであります。

その1つとして、現在の財団委員会の構成に若干の補正を加えたりしなければならぬ部分がありますので、以下のような委員会に組成してはどうかと私案を申し上げます。

### 第2510地区の委員会構成（案）

- |               |              |
|---------------|--------------|
| 1. 地区財団委員会    | (財団委員会)      |
| 2. 補助金委員会     | (新設)         |
| (1) 奨学委員会     | (国際親善奨学金委員会) |
| (2) 職業研修委員会   | (GSE委員会)     |
| (3) 学友委員会     | (財団学友委員会)    |
| (4) 新地区補助金委員会 | (補助金委員会)     |
| 3. 資金推進委員会    | (新設)         |

# 地区ガバナー補佐会議

地区代表幹事 **久保田俊昭**  
(札幌RC)



2010年12月18日(土)に標記会議が開催され、佐々木ガバナー、熊澤ガバナー・エレクト、細川ガバナー・ノミニー、12名のガバナー補佐、地区財務委員、地区幹事等が札幌後楽園ホテルに集まり、2010～2011年度上半期の活動報告と今後の活動方策について打ち合わせが持たれました。

会議冒頭、佐々木ガバナーからクラブ公式訪問時の先導のお礼、地区大会参加・フォーラムでのパネリスト出席の謝辞が述べられました。また公式訪問を重ねるにつれてCLP導入等に対しての手応えを感じたが、これも先導を務めたガバナー補佐の尽力によるもので、今後も引き続いて地区目標の達成、懸案事項の解決に向けてご尽力をお願いしたいとお話がなされました。さらに昨今のRIやロータリー財団の変革を認識して、しっかりとフォローせねば当地区は取り残されかねないとの危機意識も訴えられました。

会議の主要議題は、①上半期の活動報告 ②CLPの導入状況 ③ロータリー財団の寄付状況 ④下期の活動計画、等ではありますが、各ガバナー補佐の方々からの熱意溢れる発言が続き、予定時間を超過してしまいました。なおガバナー補佐からは後任者を推薦するにあたっての種々の問題が提起されましたが、熊澤年度へのスムーズな引継ぎを確実にを行うことを意識合わせしました。

上半期での主たる活動としては、ガバナーのクラブ公式訪問(地区目標の浸透)、ガバナー補佐と管轄クラブの会長・幹事との意思疎通、等に力が注がれました。なお各クラブにおいては、地域のニーズを踏まえての多彩で特色ある奉仕活動を活発に実践しておられますが、それら活動の効果的な水平展開を図る上でも、社会奉仕活動の実践事例集の編纂を進めていることがガバナーから説明されました。

また、地区目標の一つであるCLPの導入については、既に導入済みのクラブが20、検討中のクラブが24と着実に増えており、今後、そのフォローを確実にせねばならないことが意識合わせされました。

なお、そのほかの下半期の課題と対処策として、①ロータリー財団への協力支援(昨年度の実績が低調) ②手続要覧改版に伴うクラブ定款・細則の改定作業の指導 ③ニューオーリンズ世界大会およびRI第3700地区大会への参加 ④IM開催等について、活発な意見交換がなされました。

とりわけIM開催にあたっては、グループ内会員相互の親睦やロータリー情報の知識を広め、奉仕の勉強を深める絶好の機会であるので、フォーラム・パネル討論等を実施して、知己の輪を広げることが確認されました。

さらに会議終了後の懇親会では、忌憚りの無い意見交換が活発になされ、また和気藹々の内に、ガバナー補佐会議を終えたことを追記させていただきます。



## 公式訪問報告

### 札幌はまなすロータリークラブ

10月5日(火)

10月5日(火) 佐々木正丞ガバナーと福井ガバナー補佐をお迎えして、午前10時より会長・幹事懇談会、11時よりクラブ協議会、12時30分より例会(ガバナー公式訪問)を開催いたしました。

クラブ協議会では当クラブの現況と活動計画について説明をさせていただきました。佐々木ガバナーから、各クラブの活動にはクラブ奉仕委員会が、ロータリーの活動には各ロータリークラブの自主的な活動が重要であることや、米山記念奨学会の活動が大きな成果をあげていることなどをわかりやすくご説明いただきました。

また、例会でも「2010～2011年度 テーマと会長賞」をベースに、ロータリー活動における広報の重要性、RI会長の考えを分かりやすく丁寧にお聞かせいただきました。

アットホームな雰囲気の中で過ごすことのできた大変実り多い公式訪問でした。



### 北広島ロータリークラブ

10月5日(火)

平成22年10月5日(火) 札幌北広島クラッセホテルにおいて、佐々木ガバナー、古川ガバナー補佐をお迎えしてガバナー公式訪問が執り行われました。

佐々木ガバナーにおかれましては当日2ヶ所目のクラブ訪問にも拘わらず、疲れも見せず終始笑顔にてご対応いただきました。

会長・幹事懇談会では大谷会長・菊池会長エレクト・幹事と活動報告や問題点など1時間にわたりご意見、ご助言等を頂きました。終了後はクラブ協議会。会員全員参加し各委員長から本年度事業計画の説明を受けたあと、古川ガバナー補佐から感想・助言を頂き終了。

その後例会に移りガバナーアドバイスでは①長期ビジョンの重要性②社会奉仕③ポリオ撲滅④国際奉仕の4点に関し説明頂きました。ガバナーの基本方針を知ることができましたので、当クラブも今後原点に立ち帰って地に足をつけた活動に励みたいと思います。佐々木ガバナー、古川ガバナー補佐に感謝。



### 新札幌ロータリークラブ

10月6日(水)

10月6日(水) ガバナー公式訪問の朝は快晴に恵まれました。

当日は午前10時より、佐々木ガバナー、嘉屋ガバナー補佐、梅田会長、高橋会長エレクト、石田幹事の5名にて会長・幹事懇談会が始まり、梅田会長より当クラブの特徴について説明がありました。特に会員増強は退会防止も重要であり、また新入会員については1～2名の増員を目標としております。ガバナーからは本年度のレイ・クリンギンスミスRI会長のテーマ、最優先事項、強調事項、ポリオ、CLP等につきまして詳しくご説明をして頂きました。

クラブ協議会は、各委員長より基本方針、活動計画等の発表後にガバナーより講評をいただきました。

12時30分より例会にての卓話は、会員全員が共有した中で拝聴できた事は大変意義のある時間でありました。以上を持って公式訪問を無事終了することができました。





**苫小牧東ロータリークラブ**

10月7日(木)

10月7日10時より、佐々木ガバナー、和歌ガバナー補佐を迎えて会長、会長エレクト、幹事の出席のもと現在のクラブ会員数、財団の寄付の状況を説明且つ過去の事業経過をDVDで観賞し懇談会が和やかな中で開催されました。

11時より当クラブの協議会が開催され活動報告書に基づき各委員長が説明いたしました。

特に、次年度は20周年を迎えるに当たり、会員増強《5人で1人計画》で5名の会員増を目指していることを申し述べました。

12時30分より例会に出席をいただき2010～2011年度のRI会長による「地域を育み、大陸をつなぐ」のテーマと会長賞の説明をいただきました。また当クラブの益々の繁栄を願うご挨拶をいただきました。


**札幌清田ロータリークラブ**

10月19日(火)

10月19日、佐々木正丞ガバナー、嘉屋輝夫ガバナー補佐をお迎えして公式訪問が行われました。会長・幹事懇談会では、中村会長よりクラブの概要が報告され、続いて少人数のクラブならではの会員がこれまで連携し行ってきた事業について、今後の展望も含め報告がされました。ガバナーからは、当クラブの多くの活動に対し、その熱意と実行力に高い評価をいただきました。続いてのクラブ協議会では、各担当より現況報告、今年度活動方針が説明され、ガバナーより講評をいただきました。クラブ例会においては、日本のロータリークラブの現状やCLPそしてポリオ撲滅運動について、またレイ・クリンギンスミスRI会長のテーマについて、大変示唆に富むお話をいただきました。地区大会終了後間もなくのお疲れの中、佐々木ガバナー、嘉屋ガバナー補佐には長時間に渡り、時にユーモアを交えながら多くのアドバイスをいただき心より御礼を申し上げます。


**恵庭ロータリークラブ**

10月20日(水)

佐々木ガバナーと古川ガバナー補佐をお迎えしての会長・幹事懇談会は10月20日(水)10時から開催の予定でしたが、事故による交通渋滞のためガバナーの到着が遅れ、10時30分から始まりました。それでもクラブ協議会の開始時刻を遅らせる訳にいかず、懇談会は駆け足となりました。

クラブ協議会は予定通り11時から始まり、今年度の活動計画や進捗状況の報告が各委員長から発表されました。

例会では、新会員の入会式がありました。小池新会員は、ガバナーから襟にバッジを着けて頂く幸運に恵まれました。

30分に渡るガバナーの講演は、ガバナーの年度方針についての解説を中心に、ユーモアを交えた懇切丁寧なお話でした。



**札幌西北ロータリークラブ**

10月21日(木)

10月21日(木)、地区大会を終えたばかりの佐々木正丞ガバナー、第4グループ福井敬悟ガバナー補佐をお迎えしての公式訪問が行われました。会長・会長エレクト・幹事との懇談会は、地区大会談義に花が咲き、女性司会者が当クラブの会員であったことにガバナーが驚かれ、その日欠席であることを大変残念がっておられました。

クラブ協議会では、5大奉仕を中心に各委員長から活動状況の説明を行い、ガバナーから講評をいただき、例会ではRI会長と地区の方針について卓話をいただきました。

ガバナーのお言葉、「地域を育む」とは地域を「BUILDING」せよ、地域をつくれ、変えよ、という意味だ。まず楽しくなくてはいけない。楽しくて役に立つことをしていると仲間は増える、若い人も反応する。数が増えれば力になる。とても印象に残りました。



**札幌南ロータリークラブ**

10月22日(金)

10月22日(金) 佐々木正丞ガバナー、嘉屋輝夫ガバナー補佐をお迎えして公式訪問が行われました。

最初に懇談会にてガバナー、ガバナー補佐、会長、会長エレクト、副幹事とロータリー全般の会話を行いました。その後、クラブ協議会にて各委員長、部門長から活動報告を致しましたが、熱心な報告が続き時間が無くなる協議会となりました。

例会では、ガバナーよりレイ・クリンギンスミスRI会長のメッセージ、今年度のテーマについてお話をいただきました。

特にポリオ撲滅については、ロータリーが国際的に認知された事業となったこと、始まりは2人の日本人だったことに話が及び有意義な例会となりました。また、例会100%出席者10名にガバナーよりバッジを授与していただき、会員の記憶に残る例会となりました。

ご訪問をいただき、佐々木ガバナー、嘉屋ガバナー補佐に心より感謝申し上げます。



**赤平ロータリークラブ**

10月26日(火)

10月26日(火)、佐々木ガバナー、地元赤平RCの渡部ガバナー補佐をお迎えして公式訪問が行なわれました。

午前10時よりのガバナーとの懇談会では、会長、幹事、会長エレクトが出席する中で、約1時間にわたり明治24年に農業から始まり石炭で栄えたまちで、人口も一時は6万人を数えたが、炭鉱の閉山が相次ぎ現在は1万3千人となったとの現況説明をしました。

続いて11時よりクラブ協議会に移り各委員長から活動方針を報告したあとガバナーのアドバイスをいただきました。

このあと12時30分より例会を行い、会長挨拶につづき佐々木ガバナーからご講話をいただきました。

この中で、佐々木ガバナーは、赤平に初めて来られたとのことですが、企業誘致など懸命に努力して大変整ったきれいな町との印象を話されておりました。

このあと、会員一同記念写真を撮り公式訪問を終了しました。

佐々木ガバナーには、ご多忙の中をご訪問いただきまして心からお礼を申し上げます。



## 砂川ロータリークラブ

10月27日(水)

10月27日(水)、午前9時40分、佐々木ガバナーが到着され、午前10時から会長・幹事懇談会、午前11時からクラブ協議会、その後午後12時30分からの例会にご出席いただきました。

会長・幹事懇談会では、砂川市の町の現状や、砂川クラブの状況など話し合いながら、和やかに過ごしました。

クラブ協議会においては、当クラブの職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、新世代、会員増強の委員長から活動状況を説明し、その後、佐々木ガバナーよりご助言やロータリー全般の示唆などをお話していただきました。

例会において講話していただきました。RIの事、ポリオの事など多くのお話をしていただき、会員一同今後のロータリー活動に役立つものとなり大変有意義な公式訪問となりました。



## 滝川ロータリークラブ

10月28日(木)

佐々木正丞ガバナー、渡部芳己ガバナー補佐をお迎えして会長・幹事懇談会、クラブ協議会、ガバナー公式訪問例会が10月28日行われました。懇談会でのガバナーのお話は、ロータリー活動に留まらず、以前仕事で勤務されていた頃の滝川の思い出から広く世界経済までと、その温厚なお人柄と見識の高さに深く感銘いたしました。続いて行われたクラブ協議会、ガバナー公式訪問例会では、クラブ会員にRI会長の方針を分かり易くご説明いただきました。また、佐々木ガバナーが重点目標の一番に示されているCLPとは何なのかを丁寧に説明いただき、私どもが勝手にCLPは必要ないのではと思っていた事が、いかに認識不足であったかを痛感させられ、今後のクラブの進むべき道の光明を見いだした思いです。地区大会を成功裏に終えられ、ほっとされたご様子に私達も嬉しくなりました。ますますのご活躍をお祈り申し上げ、公式訪問を無事終えられた事を深く感謝申し上げます。



## 白老ロータリークラブ

11月2日(火)

11月2日、佐々木正丞ガバナー、当クラブ選出の第12グループ和歌宏侑ガバナー補佐をお迎えしての公式訪問は、白老町への表敬訪問に始まりました。

会長・幹事懇談会では、過去4年間に3度のRI会長賞を受賞したことを和歌ガバナー補佐よりご紹介いただきました。続いてのクラブ協議会では、各委員長から、おいしい例会で出席率向上への取り組み、職場訪問例会、青少年交換事業でフィンランドへ派遣と受入、WCS事業の継続、桜の苗木植樹継続事業、少年サッカー大会、少年剣道大会の開催などのご報告に続き、ガバナーからはCLPについて詳しくご説明いただき、考えを新たに致しました。

クラブ例会では、佐々木ガバナーから「こんな素晴らしいロータリークラブがあるのだと。ある意味、73クラブ中の最高のクラブではなからうか」「世界の会長が認めたというのは、何の説明も要さない最高のクラブです。」とのお褒めのことも頂戴しました。貴重なお話とご助言をいただき、当地のアイヌ民族博物館を見学され帰路につかれました。



**芦別ロータリークラブ**

11月4日(木)

11月4日、星の降る里芦別、第2598回例会に佐々木ガバナー、第2グループ渡部ガバナー補佐をお迎えして公式訪問が開催されました。10時より行われた会長・幹事懇談会に会長・会長エレクト・副会長・幹事・副幹事の総勢7名により懇談会が行われ、11時より各委員長を交えクラブ協議会が開催されました。

クラブ協議会では、各担当委員会の委員長が現在の活動を報告し、特に昨年度RI会長賞を頂いた、芦別全市にロータリーの活動を新聞折り込みによる広報活動に対して、興味を持たれておりました。

例会では、講話をいただき、RI会長の考え方、特に今までとは違う点としてロータリー活動を外に向け話し、地域を変える活動が必要とのことでした。CLPは自ら動くこと、長期計画の解釈は、楽しいやりやすいビジョンを持つこととのことでした。大変有意義な時間を過ごし公式訪問を終了しました。



**伊達ロータリークラブ**

11月9日(火)

11月9日伊達ローヤルホテルにおいて、佐々木正丞ガバナーをお迎えして公式訪問例会を開催しました。

例会に先立ち、会長・幹事との懇談会。各担当委員会委員長と入会3年以下の会員も出席したクラブ協議会を開催。クラブ協議会では、ガバナーから今年度の地区大会でのお話しを含めた挨拶に続き、4大奉仕委員会委員長から、今年度の活動計画及び目標についての報告と質疑応答のあと、ガバナーからこれらに対する総括及び指針が示されました。

例会には48名の会員が出席、会長挨拶、昼食に続き菅ガバナー補佐から佐々木ガバナーの紹介のあと、ガバナーから「今年度の地区大会」「RI会長の言葉」「RIの動向」「地区の目標」を中心とした講話をいただき、最後に会長の謝辞でガバナー公式訪問を無事終了いたしました。



**岩見沢ロータリークラブ**

11月11日(木)

11月11日(木)、RI第2510地区、佐々木ガバナー、第3グループ下段ガバナー補佐をお迎えして10時から会長・幹事懇談会、11時からクラブ協議会を開催し各委員長から活動方針や活動状況をご報告し、佐々木ガバナーから貴重なご助言を頂きました。当クラブが柔軟に活動をしていること、各クラブが会員減少に苦慮している中、増加しているのは驚きであるとの講評を頂きました。これからはCLPを導入し長期計画を作成し強いクラブ、人道的なクラブ、更には広報活動を重視する必要があること。ロータリーは地域に根ざした友好的な活動を進めて行くべきとお話がありました。今後のクラブ運営に活かして行きたいと思っております。

例会では佐々木ガバナーから第2510地区の今年度の方針、RIの状況等について熱く語られ有意義な時間を過ごすことが出来ました。





## 2012-13年度 国際親善奨学生 (ロータリー財団奨学生) の募集・推薦について

地区国際親善奨学金委員会

委員長 **矢橋 潤一郎**

(札幌東RC)

すでに12月上旬、各クラブへポスターと募集要項を送付しております。

以下に今後の流れを簡単に追ってみます。

応募者（学生）は、最寄りのロータリークラブへ推薦をもらうべく連絡してきます。

その期間は、今年は**2月14日～3月15日**です。各クラブにおかれましては、まずは面接してあげてください。その上で、地区に推薦するか否かを御判断ください。

推薦できないようでしたら、遠慮なく応募者にその旨を伝えてあげてください。

推薦できる場合は、地区委員会に**4月15日必着**で申請書類一式を転送してください。

その後は、地区委員会で選考致します。

詳しくは、各クラブへお送りしております募集要項をご覧ください。

お問い合わせは、ガバナー事務所まで。

御協力のほどをよろしく御願ひ申し上げます。

【募集人数】 若干名

【支給期間】 1学年度 US \$ 27,000

【応募資格】 国際ロータリー第2510地区（北海道南西部）に居住・勤務・通学しているか本籍があり、ロータリー活動の趣旨に賛同する方。なお、ロータリークラブ会員の親族および関係者は応募できません。

【出発時期】 2012年7月～2013年6月

【資料請求】 各大学の留学担当窓口または宛名を書き、240円切手を貼ったA4判の返信用封筒を同封して2011年1月15日～2月28日のあいだに下記まで請求してください。

【応募期間】 各ロータリークラブへの申請書提出期間は2011年2月14日～3月15日

【お問い合わせ・資料請求先】

**国際ロータリー第2510地区ガバナー事務所**

〒060-0042 札幌市中央区大通西11丁目 大通藤井ビル7階

電話 (011) 207-2510 メール rid2510@nifty.com

ホームページ <http://www.ri2510.gr.jp>

### ● 地区組織図の変更について

- ・地区国際奉仕委員会委員長の中村真規会員（札幌西RC）が12月31日で退会されましたので、地区世界社会奉仕委員会委員長の手塚貴志会員（白老RC）が兼任致します。
- ・地区新世代委員会委員として坂田道昭会員（小樽RC）、地区クラブ奉仕委員会委員として朝倉正人会員（札幌東RC）が選任されましたので宜しくお願い申し上げます。

## 新入会員のご紹介

(敬称略)



札幌あけぼのRC  
武藤 正隆

10月15日入会 印章小売業



岩見沢RC  
内村 幸範

12月2日入会 郵便事業



千歳セントラルRC  
福田 哲明

12月7日入会 結婚式場

## 訃報

謹んでお悔やみ申し上げますとともに  
心からご冥福をお祈り致します



村山 裕名誉会員 (小樽RC)

2010年8月19日逝去(享年89歳)

【ロータリー歴】  
1953年4月 入会  
1974~75 会長

【表彰関係】  
マルチプル・ポール・ハリス・  
フェロー  
米山功労者



西川 満会員 (小樽RC)

2010年11月4日逝去(享年79歳)

【ロータリー歴】  
1978~2001年まで札幌札幌南RCに在籍  
2001年8月 入会



鴨井清成会員 (室蘭RC)

2010年11月23日逝去(享年86歳)

【ロータリー歴】  
1973年7月 入会  
1972~73 職業分類委員長  
1979~80 社会奉仕委員長  
1985~86 国際奉仕委員長  
2004~05 他 委員長歴任  
副会長

【表彰関係】  
ポール・ハリス・フェロー  
36年間100%皆出席

## 文庫通信



「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

## 地区大会講演より

◎ 「喜びや感動が可能性を引き出す～遺伝子ONの生き方」	村上和雄	2010	4p (D.2790)
◎ 「危機における決断～戦国武将に学ぶ」	津本 陽	2010	2p (D.2660)
◎ 「資本主義はなぜ自壊したのか『日本』再生への提言」	中谷 巖	2010	4p (D.2660)
◎ 「笑いの処方箋～笑いと長寿の科学」	昇 幹夫	2010	2p (D.2660)
◎ 「野球を通して人を育てる」	王 貞治	2010	4p (D.2650)
◎ 「あたり前の暮しを求めて」	倉本 聰	2010	15p (D.2510)
◎ 「世界の構造転換と日本の進路－2010年への視座」	寺島実郎	2010	2p (D.2580)
◎ 「この国の行方」	櫻井よしこ	2010	2p (D.2670)
◎ 「北海道の《食》の大いなる可能性、再発見！」	小泉武夫	2010	14p (D.2500)

上記申込先：ロータリー文庫【コピー／PDF】

## ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階 TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506  
開館/午前10時～午後5時 休館/土・日・祝祭日 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>



ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

◇ マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

深川RC	板倉 克宏	会員 (1回)	11月19日
深川RC	渡辺 一義	会員 (1回)	11月19日
札幌西北RC	大島 利一	会員 (5回)	11月26日
札幌幌南RC	木村 利彦	会員 (1回)	11月30日
札幌幌南RC	長谷川洋一	会員 (1回)	11月30日
札幌幌南RC	前田 恒雄	会員 (1回)	11月30日
札幌幌南RC	山際 廣昭	会員 (2回)	11月30日
札幌真駒内RC	神谷 英光	会員 (4回)	11月26日
恵庭RC	柴田 弘道	会員 (1回)	11月30日
室蘭北RC	久保 隆司	会員 (2回)	11月30日
函館東RC	吉村 昭二	会員 (3回)	11月19日
函館東RC	吉村 朝子	さん (1回)	11月19日

◇ ポール・ハリス・フェロー

恵庭RC	田中 利則	会員	11月30日
長沼RC	花輪 博一	会員	11月26日

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

◇ 米山功労者

札幌西RC	上出 利光	会員 (2回)	11月16日
札幌真駒内RC	神谷 英光	会員 (13回)	11月19日
札幌南RC	服部 信吾	会員 (2回)	11月 2日
札幌南RC	今井 國雄	会員 (4回)	11月 2日
札幌南RC	佐藤源五郎	会員 (6回)	11月 2日
札幌南RC	平 昌夫	会員 (4回)	11月 2日
函館RC	太刀川善一	会員 (14回)	11月 4日
七飯RC	山内 一男	会員 (1回)	11月 2日

◇ 米山功労クラブ

札幌真駒内RC	24回	11月19日
札幌南RC	36回	11月 2日
函館RC	11回	11月 4日

2010-2011年度 カレンダ ー (予定表)

年	ロータリー月間強調事項	月	日(曜日)	地区の行事	日(曜日)	国内行事・国際行事	グループ内の行事・IM、クラブ周年行事
2010年	ロータリー理解推進月間	1	8(土) 29(土)	各クラブ半期報告、人頭分担金送金 2011学年度米山奨学生選考試験 (札幌) 青少年交換オーストラリア受入学生歓迎会 (札幌)	16(日)~ 23(日) 29(土)	国際協議会 (米国・サンディエゴ)	室蘭東RC50周年記念式典 (室蘭)
	世界理解月間 ロータリー創立記念日、 世界理解と平和の日 (2/23)	2	9(水)~ 13(日) 26(土)	12-13国際親善奨学生応募開始 WCS検証ツアー (タイ) 2011-12年度ガバナー補佐研修セミナー (小樽) 2011-12年度地区チーム研修セミナー (小樽)	12(土) 13(日)		第8グループIM (静内) 第9グループIM (伊達)
	識字率向上月間 世界ローターアクト週間 (3/13を含む1週間) 世界ローターアクトの日 (3/13)	3	12(土) 12(土)~ 13(日) 19(土)	2011年3月終了米山奨学生歓送会 2011-12年度会長エレクト研修セミナー (小樽) 2011-12年度財団・米山セミナー (小樽) 青少年交換学生春季キャンプ	6(日) 19(土) 23(水)		第7グループIM (長沼) 第4・5グループ合同IM (札幌) 札幌あけぼのRC20周年記念式典 (札幌)
	ロータリー雑誌月間	4	10(日) 15(金) 16(土)	2011-12年度地区協議会 (小樽) 12-13国際親善奨学生応募締切り 2011学年度米山奨学生オリエンテーション他	15(金)~ 16(土) 16(土)	ROTARY-NO-TOMO発行 第3700地区 (韓国) 地区大会	第6グループIM予定 (倶知安町)
	RI国際大会	5		米山学友主催家族懇親会	14(土) 21(土)~ 25(水) 22(日) 28(土) 29(日)	国際大会 (米国・ニューオーリンズ)	第12グループIM予定 余市RC50周年記念式典予定 浦河RC50周年記念式典予定 札幌北RC40周年記念式典予定 赤平RC50周年記念式典 及び第2グループIM予定
	ロータリー親睦活動月間	6	4(土) 12(日) 17(金)~ 18(土)	2012-13財団奨学生面接予定 新旧地区委員長・ガバナー補佐合同会議 (引継ぎ会) ローターアクト地区年次大会 インターアクト地区年次大会 (札幌) 2010-2011年度終了	5(日) 18(土) 25(土)	留萌RC50周年記念式典予定 米山記念奨学会、理事会・評議員会	第10・11グループ合同IM予定 静内RC40周年記念式典予定
		7 9		2010-2011年度残務整理			

2011年1月のロータリーレート 1ドル84円

## 出席率・会員数

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			2010.7.1	2010.11.30	増減	内女性	
1	深川	4	33	33	0	1	94.02
	羽幌	4	49	51	2	1	88.27
	妹背牛	3	8	10	2	0	90.00
	小平	4	11	11	0	0	38.64
	留萌	3	43	44	1	3	86.51
	小計		144	149	5	5	79.49
2	赤平	4	31	31	0	0	80.85
	芦別	4	37	37	0	0	79.02
	砂川	3	51	51	0	0	96.67
	滝川	4	91	96	5	2	71.00
	小計		210	215	5	2	81.89
3	美唄	4	35	36	1	0	88.18
	江別	4	32	32	0	2	89.85
	江別西	4	25	26	1	3	98.10
	岩見沢	4	81	83	2	0	89.38
	岩見沢東	4	27	27	0	4	76.43
	栗沢	3	23	23	0	1	93.86
	栗山	5	25	28	3	2	93.30
	当別	4	30	31	1	0	90.11
	小計		278	286	8	12	89.90
4	札幌	3	115	126	11	0	96.64
	札幌あけぼの	4	13	14	1	1	100.00
	札幌はまなす	4	18	18	0	4	87.50
	札幌北	4	35	37	2	7	95.89
	札幌モーニング	3	51	52	1	0	73.67
	札幌西	4	56	57	1	5	88.06
	札幌西北	4	35	35	0	5	96.15
	札幌手稲	4	34	34	0	2	88.97
	小計		357	373	16	24	90.86
5	札幌東	4	109	108	-1	0	97.30
	札幌清田	4	18	18	0	4	100.00
	札幌幌南	4	56	57	1	0	99.06
	札幌真駒内	3	26	27	1	3	97.53
	札幌南	4	74	78	4	0	99.68
	札幌大通公園	4	11	10	-1	2	70.42
	札幌セントラル	4	10	9	-1	5	69.50
	新札幌	3	28	28	0	3	82.02
小計		332	335	3	17	89.44	
6	岩内	4	17	18	1	0	80.11
	倶知安	3	37	39	2	5	77.00
	小樽	5	68	70	2	0	89.84
	小樽南	4	74	75	1	2	82.88
	小樽銭函	4	23	23	0	2	67.00
	蘭越	5	9	9	0	0	91.10
	余市	4	41	41	0	3	91.00
	小計		269	275	6	12	82.70

## 11月出席率・会員増減数

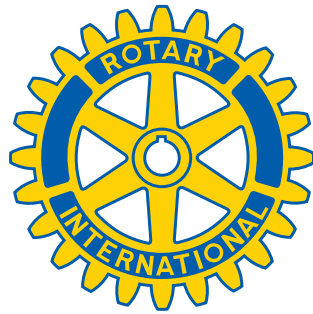
クラブ数	73クラブ
期首会員数	2,633人
当月末会員数(女性)	2,701人(114人)
増加会員数	68人
当月平均出席率	84.90%

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			2010.7.1	2010.11.30	増減	内女性	
7	千歳	4	54	58	4	2	77.13
	千歳セントラル	3	34	35	1	1	93.30
	恵庭	3	44	45	1	3	86.50
	北広島	4	11	12	1	0	89.58
	長沼	5	20	20	0	3	80.50
	由仁	4	9	9	0	1	77.78
小計		172	179	7	10	84.13	
8	えりも	4	22	24	2	1	94.79
	三石	5	14	15	1	2	78.70
	様似	4	23	23	0	1	80.00
	静内	3	74	74	0	1	86.48
	浦河	4	35	34	-1	2	100.00
	小計		168	170	2	7	87.99
9	伊達	4	56	57	1	0	78.94
	室蘭	4	42	42	0	0	81.40
	室蘭東	2	38	39	1	0	89.75
	室蘭北	4	38	38	0	3	87.24
	登別	3	31	32	1	1	84.38
	洞爺湖	4	7	9	2	0	83.40
小計		212	217	5	4	84.19	
10	函館	4	82	85	3	0	78.23
	函館亀田	4	35	40	5	4	91.64
	森	4	39	39	0	0	64.10
	七飯	4	14	14	0	0	84.00
	長万部	3	8	8	0	0	83.30
	函館セントラル	4	29	28	-1	2	66.08
小計		207	214	7	6	77.89	
11	江差	4	14	14	0	1	68.18
	函館五稜郭	4	45	45	0	0	96.44
	函館東	4	44	46	2	6	82.40
	函館北	3	25	24	-1	0	95.83
	北斗	4	17	18	1	1	59.70
	松前	4	3	3	0	0	66.00
小計		148	150	2	8	78.09	
12	白老	4	29	29	0	1	81.80
	苫小牧	4	53	55	2	2	76.29
	苫小牧東	4	25	25	0	3	92.00
	苫小牧北	4	29	29	0	1	96.49
	小計		136	138	2	7	86.65
合計		2,633	2,701	68	114	84.90	





表紙：朝日を浴びた真冬の赤レンガ  
撮影：(株)札幌振興公社 今野哲郎



ROTARY INTERNATIONAL  
DISTRICT 2510

2010-2011

GOVERNOR

MASATSUGU SASAKI

**地域を育み、大陸をつなぐ**